

教 育 計 画

さくら市立氏家小学校

1 学校教育目標

(1) 基本目標

豊かな心と自ら学ぶ意欲をもつ
たくましい児童を育成する。

(2) 具体目標

- よく考える子 (かしこさ)
- なかよくする子 (やさしさ)
- 体をきたえる子 (たくましさ)



大 志 桜

2 学校経営の方針

学校を、安全で快適な環境に整え、①確かな学力・②豊かな心・③健やかな体を醸成する場と捉え、この3本柱を学校経営の中核に据え、すべての子どもが輝く学校をを目指す。そして、教職員・保護者・地域住民が丸となって連携・協働し、活気と創意に満ちた魅力ある学校経営を推進する。

- (1) 児童が安全・安心で美しく潤いのある環境の中で生活できるよう、全ての教育活動の安全管理の徹底、安全教育の充実、校舎等の点検・整備、学びを高める環境の整備・活用に努める。

(安全で快適な環境)

- (2) 学習指導要領の主旨を踏まえ、学校評価結果、児童・学校・地域の実態を生かし、学校教育目標達成のために創意工夫を凝らした特色ある教育課程を編成する。

(特色ある教育課程)

- (3) 学力テストの結果を活用し、「聴く・話す・書く力等、基礎基本の確実な定着」(知識)、「主体的・対話的で深い学びによる思考力、判断力、表現力等の育成」(活用)、「学び方の育成」(学習意欲・学習習慣)を推進し、県内トップレベルの学力を目指す。

(①確かな学力)

- (4) 挨拶をはじめとする『氏小かがやきっず』を推進し、自尊感情を高め、当たり前のことを全力でやる心、素直な心、優しい心、温かい心、美しい心など、人間性豊かな児童を育成する。

(②豊かな心)

- (5) 体育科を中心にめあてをもった体力づくりを進め、気力・体力・活力のある児童、健康・安全のために自己管理できる児童を育成する。

(③健やかな体)

- (6) 児童の内面理解に努め、いじめ・不登校・問題行動等への指導体制(組織力・同僚性の発揮)を確立する。「氏小児童宣言」を核に規範意識の高揚を図り、一人一人を大切にし、笑顔あふれる学級・学校となるように努める。

(児童指導・学校体制の充実)

- (7) 児童の実態を的確に把握し、ユニバーサルデザインに基づき、個に応じた指導内容や指導方法等を工夫し、児童一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進する。

(特別支援教育の充実)

- (8) 様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いの良さや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、より良い生活をつくろうとする態度や児童の主体性を育成する。

(特別活動の充実)

- (9) 学校教育目標達成のために、協働遂行力・授業力・学級経営力・特別支援教育力の4つの教師力を身に付けるため、教職員の資質・能力向上策を推進する。教職に関わる者として崇高な使命を自覚し、サービスの厳正を徹底する。

(教職員の姿)

- (10) 社会に開かれた教育課程に努め、学校運営協議会を核に地域に支えられている学校、地域に貢献できる学校を目指し、生涯学習を踏まえたふれあい学習を促進し、「地域とともにある学校」づくりを推進する。

(地域とともにある学校づくり)